

# 大槌駅デザイン総選挙を開催



選挙で選ばれたひょうたん島モチーフの駅デザイン



町内外から多くの方が投票に訪れた

大槌駅のデザインを投票で決める総選挙が8月11、12日に行われ、3つのデザイン候補の中から、「ひょうたん島」をモチーフとしたデザインが選ばれました（上図参照）。全投票数は1,701票で、投票は町民に限らず行い、比率は約半々と、町内外の関心の高さを現す結果となりました。新たな大槌駅舎は、中心市街地のにぎわい再生のシンボルとして期待が集まります。

## 駅舎デザインが決定

# (仮称) 御社地エリア復興拠点施設愛称決定

「大槌町立図書館」などの用途を一つに集約した施設で、文化交流の拠点として活用されます。



御社地エリアに建設が進んでいる（仮称）御社地エリア復興拠点施設の愛称検討委員会が、8月22日に開催されました。応募総数350通の中から愛称に選ばれたのは、「おしゃっち」。親しみやすく覚えやすいことなどが評価されました。考案者は、菊池隆星さん（大槌学園3年）、長岡倭丸さん（大槌学園2年）の2名。この施設は、「御社地ふれあいセンター」「大槌町立図書館」などの用途を一つに

## 応募総数350通 愛称は「おしゃっち」



## 8月5日 金沢地域復興協議会による東日本大震災慰霊碑の建立

8月5日（土）、金沢地区で東日本大震災の慰霊碑の除幕式が行われました。金沢地区は、直接津波の被害は受けなかったものの、仕事等で地区外に出ている住民や地区住民の親族が犠牲となったほか、被災した地区から避難してきた住民の受け入れ等大きな影響があったことから、津波による犠牲者の慰霊、津波の教訓の伝承を目的として、金沢地域復興協議会により建立されました。

町は、鎮魂の森が整備される町方以外の地域復興協議会を対象とし、慰霊施設の整備に300万円を限度とした補助金を交付しています。事業を活用し、慰霊碑を建立したのは金沢地域復興協議会が最初となります。



建立された慰霊碑

## 8月6日 おおつちありがとうロックフェスティバル開催

8月6日（日）、今年で6回目を迎えるおおつちありがとうロックフェスティバルが開催されました。「the OVER」「絶対的。に感謝を超える。」をテーマに、総勢20組がステージを披露しました。岡野実行委員長は、「このありフェスが、みんなで創り上げた作品だと思っています。ありがとうございます！」と感謝を熱く呼びかけました。フィナーレでは会場は小雨となりましたが、訪れた観客は無事打ち上げられた花火に歓声を上げました。



ノリシゲ with 大槌高校吹奏楽部



肩を組み輪になって踊る観客

## 8月8日 静岡県富士宮市と災害時相互応援協定を締結

8月8日（火）、町は静岡県富士宮市と災害時における相互応援協定を締結しました。静岡県富士宮市は東日本大震災津波の復興応援として平成23年度から当町に計7名の職員を派遣していただいているほか、発災直後は物資支援や炊き出しの実施など、数々の心温まる支援を頂いています。締結式には、富士宮市長の須藤秀忠（すどうひでただ）氏が来庁しました。



この協定により、一方の自治体に災害があった場合、職員の派遣や物資、資機材の支援などが行われることとなります。



握手を交わす平野町長と須藤市長

## 8月10日 みちのく潮風トレイル大槌町区間が開通

みちのく潮風トレイルとは、環境省が設定を進めている、太平洋沿岸にそって旅をする全長700kmを超えるトレイルコースです。8月10日（木）、大槌町区間の路線設定とルートマップ作成が完了したことを記念して、ルートマップの手交式が行われました。大槌町区間は全長約24km。環境省東北地方環境事務所の常富次長は、「大槌区間は様々な景観があり、距離的にも歩きやすいコース。住民の皆さまにはどんどん活用してほしい。」と話しました。トレイルのルートマップは、環境省に問い合わせ、郵送で取り寄せることができます。



環境省の常富次長からマップが手渡された